

令和 4年度

事務事業評価表 ( 令和 3年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		歴史的風致形成建造物修理事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050203000902
		政策体系上の位置付け				単独/補助	補助		060201
政策体系	総合計画の施策名	0502 景観の良い住環境の保全						所属課	都市整備課
	政策名	05 快適な暮らしのまちづくり						課長名	
	施策名	02 景観の良い住環境の保全						グループ	都市政策G
	手段名	03 ③景観の維持・向上						担当者名	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業細	一般会計			
	01	08	04	05	01 00	伝統的建造物群保存地区推進事業			
法令根拠		地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律				期間限定複数年 (平成23年度～令和12年度)			
		【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>平成21年2月に策定し、同3月に文部科学省、農林水産省、国土交通省に認定された桜川市歴史的風致維持向上計画に位置づけた事業を実施する。 令和3年3月5日付けで桜川市歴史的風致維持向上計画(第2期)が認定され、令和12年度までを計画期間として事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市所有歴史的風致形成建造物 1件</li> <li>・個人所有歴史的風致形成建造物 4件(補助率2/3 上限200万円)</li> </ul> <p>※歴史的風致形成建造物は、桜川市歴史的風致維持向上計画に記載された歴史的風致に関連する建造物で、10年間の一般公開の同意が得られた物件。 現時点で、指定している建造物は、国有形登録文化財のみで、修理の要望のあった建造物のみ修理費助成している。 平成26年度以降は、必要に応じ歴史的風致形成建造物の追加等を協議するとともに、重点区域内の市補助制度に於いていない建造物の修理を実施する。</p>		<p>歴史的風致維持向上計画の変更業務 歴史的風致形成建造物の指定 街なみ環境整備事業計画・執行 工事・委託発注・監督業務 修理費補助業務 歴史的風致維持向上推進協議会の開催 歴史的風致維持向上計画の事業進捗評価 市所有歴史的風致形成建造物の賃借料支払い</p>	

①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
歴史的風致維持向上計画の変更 歴史的風致形成建造物の指定 工事・委託発注・監督業務 歴史的風致維持向上推進協議会の開催 歴史的風致維持向上計画の事業進捗評価 市所有歴史的風致形成建造物の賃借料支払い		歴史的風致形成建造物指定件数	件	32.00	5.00	10.00	15.00	20.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
修理の必要な歴史的風致形成建造物		修理する歴史的風致形成建造物件数	件	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
歴史的風致形成建造物の修理		修理された歴史的風致形成建造物件数	件	30.00	1.00	2.00	3.00	4.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
投 入 量	事業費 内 訳	国庫支出金	千円	4,500	990	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	4,955	3,016	149	
	事業費計(A)	千円	9,455	4,006	149		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事 業 費 の 内 訳	03年度事業費 実績 (千円)			04年度事業費 予算 (千円)			
	01 報酬	21		01 報酬	24		
	08 旅費	5		08 旅費	72		
	18 負担金補助及び交付金	3,980		10 需用費	2		
				12 委託料	51		
				合 計	4,006		
						合 計	149

事務事業名	歴史的風致形成建造物修理事業	事務事業No.	50203000902	所属課	都市整備課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
桜川市歴史的風致維持向上計画に基づき、伝建制度とは別枠で修理が必要な歴史的な建造物を歴史的風致形成建造物に指定し、年間1～2棟修理する予定で始まった。しかし、東日本大震災により多くの歴史的な建造物が被災したため、災害復旧を目的とした修理工事を平成23年度から実施している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
伝建制度における伝統的建造物以外の登録有形文化財等は、修理費補助制度がないため、何らかの修理費の補助が求められている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 歴史的風致形成建造物は町並み景観を構成する重要な要素である。
現状維持	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 町並み景観は公共の財産であり、その景観を維持向上させるためには公的な関与、支援が不可欠である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 計画に沿って事業が進捗している。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 歴史的風致維持向上計画に沿って実施しており、休止すると事業が完了せず、企図した成果を上げられなくなる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 具体的な手段、事務事業名 伝統的建造物群保存地区事業とは適用できる範囲が異なり、統合することができない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 年次計画により最低限の事業費で実施している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 町並み景観は地区全体の公共の財産であるとともに、市を代表する観光資源である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	第1期計画において、歴史的風致形成建造物修理事業を実施することで伝統的建造物群保存地区外の歴史的建造物の滅失を最小限に抑えることができた。第2期計画においては、令和3年度は歴史的風致形成建造物を5件指定し、内1件に対して街なみ環境整備事業を活用した補助事業を実施した。																		
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">向上維持</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加	向上維持	向上		○	×	低下	×	×	×
成果	向上維持低下	コスト																		
		削減	維持	増加																
向上維持	向上		○	×																
	低下	×	×	×																
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>